【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】令和4年1月17日(2022.1.17)

【公開番号】特開2021-130875(P2021-130875A)
【公開日】令和3年9月9日(2021.9.9)
【年通号数】公開・登録公報2021-042
【出願番号】特願2021-75615(P2021-75615)
【国際特許分類】
Ｃ２３Ｃ 14/06(2006.01)
Ｃ２３Ｃ 14/08(2006.01)
Ｃ２３Ｃ 16/34(2006.01)
Ｃ２３Ｃ 16/40(2006.01)
Ｈ０１Ｌ 21/31(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２３Ｃ 14/06 Ｌ
Ｃ２３Ｃ 14/06 Ａ
Ｃ２３Ｃ 14/08 Ｊ
Ｃ２３Ｃ 16/34
Ｃ２３Ｃ 16/40
Ｈ０１Ｌ 21/31 Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和4年1月6日(2022.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
プラズマでぬらされるシステムの部品の表面に適用されるコーティングであって、
２５％～６０％の間の量のアルミニウム、
２０％～４０％の間の量の酸素、
２０％～４０％の間の量の窒素
の組成を有する酸窒化アルミニウム；並びに
６０％～８０％の量のイットリウム、及び
２０％～４０％の量の酸素
の組成を有するイットリア
を含むコーティング。
【請求項２】
３ＧＰａ～１０ＧＰａの間の硬度を有する、請求項１に記載のコーティング。
【請求項３】
１００ＧＰａ～２００ＧＰａの間の（ヤング）弾性率を有する、請求項１に記載のコーティング。
【請求項４】
２５％～６０％の間の量のアルミニウム、
２０％～４０％の間の量の酸素、
２０％～４０％の間の量の窒素
の組成を有する酸窒化アルミニウム；並びに

６０％～８０％の量のイットリウム、及び
２０％～４０％の量の酸素
の組成を有するイットリア
を含むように、物理蒸着によって形成される、
請求項１～３のいずれか１項に記載のコーティング。
【請求項５】
４～５ミクロンの厚さを有するように、物理蒸着によって形成される、請求項４に記載のコーティング。
【請求項６】
－１５０℃～＋６００℃の温度で安定であるように、物理蒸着によって形成される、請求項４に記載のコーティング。
【請求項７】
プラズマでぬらされるシステムの部品の表面に適用されるコーティングであって、
２５％～６０％の間の量のアルミニウム、
２０％～４０％の間の量の酸素、
２０％～４０％の間の量の窒素
の組成を有する酸窒化アルミニウム
を含むように、物理蒸着によって形成される、コーティング。
【請求項８】
６０％～８０％の量のイットリウム、及び
２０％～４０％の量の酸素
の組成を有するイットリア
をさらに含む、請求項７に記載のコーティング。
【請求項９】
プラズマシステムが、下流遠隔プラズマシステム、誘導結合プラズマシステム、容量結合プラズマシステム、反応性イオンエッチングプラズマシステム、大気プラズマシステム、又はイオンエッチングプラズマシステムである、請求項７又は８に記載のコーティング。
【請求項１０】
４～５ミクロンの厚さを有する、請求項７又は８に記載のコーティング。